觜演会型+子育てサロン型+在宅取組型(中学校)

学校名等	大垣市立南中学校
実 施 日 時	令和5年7月13日(木)
会 場	大垣市立南中学校
参加人数	保護者 II 名
学習課題(分野)	情報モラル講座&お話し会
	「わが子を被害者・加害者にしないためには?」
	(自制心、善悪の判断、思いやり、社会のルール)
運営者の願い	情報モラルの最新情報を学び、子どもが安全にスマホやインターネットを使える環境を作る方法を学んでほしい。また、保護者同士の交流の中で何か解決策を見つけたり、お互い共感し合あって思春期の問題を乗り越えられる機会としたい。

学習の内容

PTA会員のみなさま

7/13(木)

南中学校 PTA 第 1 回家庭教育学級

情報モラル講座

&お話会

わが子を被害者・加害者にしないためには?

日時:2023年7月13日(木)13:30~15:30 受付 13:20-

① まずは知ること! 情報モラルの最新情報を学ぶ

t性に関こう! 学校タブレットの今 -人で幅まないで! おしゃべり会 (お菓子付き)

(()

<取組内容>

- ① 参加者から事前に質問を募集する。
- ② 終了後、オンラインでアンケートを実施する。 結果を講師とも共有し、今後の参考にする
- ③ 学んだことを家庭でも話し合うよう声掛けを する。

<当日の流れ>

- Ⅰ 大垣市教育情報センターの講師による情報モ ラル講座
- 大垣市や児童の現状や SNS トラブル事例
- 保護者の心構え
 - 親子で話し合ってルール作り。
 - トラブルの際は一緒に考える。
 - 「子どもに任せている」は無責任。最終的 に救えるのは保護者だけ。
 - 毅然とした態度をとりつつ、子どもの成長 過程を温かく見守る。
- 学校と保護者が連携できること
 - 学校では、誰もが安心して生活を送るため、情報モラルの指導をしている。
 - でも、基本は家庭、地域のコミュニケーション。声かけ、見守り、ほめる、など。 ☆オフラインでの信頼関係がなければ、オンラインでもうまく行かない。対話が大切。 ☆スマホやネットは悪ではなく、むしろ役立つツール。ルールを守り使えるよう取り組む。
- 2 校長先生からのお話
 - 情報モラル講座を長年担当した経験からのお話は、とても心に響いた。
 - スマホから遠ざけるのではなく、どうやって安全に使えるかを教える。
 - ブレーキの作り方を考え、道から外れないよう子どもを導いていく。

3 お話し会

- 講師の先生、校長先生と共に、お茶をしながらリラックスした雰囲気で行った。
- 悩みや気になることをお互いに共感しながら、時にはアドバイスを交えつつ、講師も 保護者も一緒になって問題解決に向けて気軽に話すことができた。

<参加者の感想>

- 具体的な例や対応を教えてもらい勉強になった。帰ってから子どもと真剣に話すきっ かけになった。
- ・根本の原因はネットではなく、親子でコミュニケーションが取れているか、信頼関係が あるか、なんだと思った。
- お話会の時間が足りない。もっといろいろ意見が聞きたい。子どもと一緒に参加した



親の目が届きにくくな る夏休み前に開催し、親 子で

話し合うきっかけを作っ

また、事前に質問を募 集したことにより、保護者 のニーズに合った具体的 な講座内容になった。



飲み物やお菓子のコ ーナーを設置した。カフェ のようなリラックスした雰 囲気で講座やおしゃべり 会を進めることができ た。





講師だけでなく、学校の 先生からも話を聞けるよう にした。お話会でも一緒に 話ができたので、保護者も リアルな話ができて盛り上 がった。次は先生との座談 会をしたいという要望も出 た。

